



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三幸学園札幌大通校	階数	地上10F
建設地	札幌市中央区大通西9丁目1番12	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	641 人
気候区分	2地域	年間使用時間	2,530 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年5月16日
敷地面積	632 m ²	作成者	
建築面積	497 m ²	確認日	2017年5月16日
延床面積	4,206 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 99%

③上記+②以外の 99%

④上記+ 99%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.2
温熱環境	3.0
光・視環境	2.6
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	3.1
耐用性	2.9
対応性	2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.0
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項	
総合 街並みに対する調和を最優先。	A 省エネルギー 換気において全熱交換機を採用。
B 省資源等 節水器具の採用。	D 雪処理 敷地内にロードヒーティング設備を設置。
C 緑化 隣地境界周辺及び中庭を積極的に緑化。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE Sapporo2014v1.2
(仮称)三幸学園札幌大通校

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目		A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理					
	配慮項目	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄								建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数									
Q 建築物の環境品質																		
Q1 室内環境																		
1 音環境																		
1.1 騒音																		
1.2 遮音																		
1 開口部遮音性能																		
2 界壁遮音性能																		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																		
1.3 吸音																		
2 温熱環境																		
2.1 室温制御																		
1 室温																		
2 外皮性能																		
3 ゾーン別制御性																		
2.2 湿度制御																		
2.3 空調方式																		
3 光・視環境																		
3.1 昼光利用																		
1 昼光率																		
2 方位別開口																		
3 昼光利用設備																		
3.2 グレア対策																		
1 昼光制御																		
2 障り防止対策																		
3.3 照度																		
3.4 照明制御																		
4 空気環境																		
4.1 発生源対策																		
1 化学汚染物質																		
2 化学汚染物質																		
4.2 換気																		
1 換気量																		
2 自然換気性能																		
3 取り入れ外気への配慮																		
4.3 運用管理																		
1 CO ₂ の監視																		
2 喫煙の制御																		
全館禁煙																		
Q2 サービス性能																		
1 機能性																		
1.1 機能性・使いやすさ																		
1 広さ・収納性																		
2 高度情報通信設備対応																		
3 バリアフリー計画																		
1.2 心理性・快適性																		
1 広さ感・景観																		
2 リフレッシュスペース																		
3 内装計画																		
1.3 維持管理																		
1 維持管理に配慮した設計																		
2 維持管理用機能の確保																		
3 衛生管理系統																		
新法の基準を満たしている																		
2 耐用性・信頼性																		
2.1 耐震・免震																		
1 耐震性																		
2 免震・制振性能																		
2.2 部品・部材の耐用年数																		
1 躯体材料の耐用年数																		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																		
6 主要設備機器の更新必要間隔																		
2.4 信頼性																		
1 空調・換気設備																		
2 給排水・衛生設備																		
3 電気設備																		
4 機械・配管支持方法																		
5 通信・情報設備																		
3 対応性・更新性																		
3.1 空間のゆとり																		
1 階高のゆとり																		
2 空間の形状・自由さ																		
3.2 荷重のゆとり																		
3.3 設備の更新性																		
1 空調配管の更新性																		
2 給排水管の更新性																		
3 電気配線の更新性																		
4 通信配線の更新性																		
5 設備機器の更新性																		
6 バックアップスペースの確保																		

CASBEE Sapporo2014v1.2

(仮称)三幸学園札幌大通校

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D					評価点	重み係数	評価点	重み係数					
Q3 室外環境(敷地内)									-	0.30	-	-	-	-	2.8		
1 生物環境の保全と創出			C						1.0	0.30					1.0		
2 まちなみ・景観への配慮			C		外観意匠を重視				4.0	0.40					4.0		
3 地域性・アメニティへの配慮									3.0	0.30					3.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D					3.0	0.50							
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C						3.0	0.50							
LR 建築物の環境負荷低減性									-	-	-	-	-	-	3.0		
LR1 エネルギー									-	0.40	-	-	-	-	3.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				BPIm 0.81				4.0	0.20					4.0		
2 自然エネルギー利用	A								3.0	0.10					3.0		
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 0.98 住宅(専有部) -				3.0	0.50					3.0		
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A								3.0	1.00							
集合住宅の評価(3c)	A									-							
4 効率的運用									3.0	0.20					3.0		
集合住宅以外の評価									3.0	1.00							
4.1 モニタリング	A								3.0	0.50							
4.2 運用管理体制	A								3.0	0.50							
集合住宅の評価										-							
4.1 モニタリング	A								3.0	-							
4.2 運用管理体制	A									-							
LR2 資源・マテリアル									-	0.30	-	-	-	-	2.9		
1 水資源保護									3.0	0.20					3.0		
1.1 節水									3.0	0.40							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用									3.0	0.60							
1 雨水利用システム導入の有無									3.0	0.70							
2 雑排水等利用システム導入の有無									3.0	0.30							
2 非再生性資源の使用量削減									2.8	0.60					2.8		
2.1 材料使用量の削減		B							2.0	0.11							
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B							3.0	0.22							
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			再生骨材の路盤利用				3.0	0.22							
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B							3.0	0.22							
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B							-	-							
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B							3.0	0.22							
3 汚染物質含有材料の使用回避									3.0	0.20					3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用									3.0	0.30							
3.2 フロン・ハロンの回避									3.0	0.70							
1 消火剤		B							-	-							
2 発泡剤(断熱材等)		B							3.0	0.50							
3 冷媒		B							3.0	0.50							
LR3 敷地外環境									-	0.30	-	-	-	-	2.8		
1 地球温暖化への配慮		B							3.0	0.33					3.0		
2 地域環境への配慮									2.5	0.33					2.5		
2.1 大気汚染防止		B							3.0	0.25							
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D					2.0	0.50							
2.3 地域インフラへの負荷抑制									3.0	0.25							
1 雨水排水負荷低減		B							-	-							
2 汚水処理負荷抑制									3.0	0.33							
3 交通負荷抑制									3.0	0.33							
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D					3.0	0.33							
3 周辺環境への配慮									3.0	0.33					3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止									3.0	0.40							
1 騒音									3.0	1.00							
2 振動									-	-							
3 悪臭									-	-							
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制									3.0	0.40							
1 風害の抑制									3.0	0.70							
2 砂塵の抑制									3.0	-							
3 日照障害の抑制									3.0	0.30							
3.3 光害の抑制									3.0	0.20							
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に溢れる光への対策									3.0	0.70							
2 日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策									3.0	0.30							

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE 札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	0.9	BEEランク	B⁻
建物名称	(仮称)三幸学園札幌大通校	総合評価 ★★☆☆☆			
建物用途	学校				
延床面積	4,205.54 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>省エネルギー性能: 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理 ← 省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計	14点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	3.0	
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0	
		LR1 設備システムの高効率化	スコア	6.0	
		LR1 効率的運用	スコア	2.0	
B 省資源等				合計	13点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0	
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.0	
		LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	
C 緑化				合計	8点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0				
D 雪処理				合計	1点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0	

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
換気において全熱交換機を採用。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
節水器具の採用。	隣地境界周辺及び中庭を積極的に緑化。	敷地内にロードヒーティング設備を設置。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される